

平成31年1月24日

# 平成31年度当初予算（案）の概要

## 上水道事業会計 工業用水道事業会計



千葉県水道局

管理部財務課  
電話 043-211-8547

# I 上水道事業会計

## ●予算編成の考え方

来たるべき人口減少社会や、給水収益の伸び悩み、水道施設の更新需要の増大等、近年、大きく変化する経営環境の中、県営水道事業では中期経営計画(平成28年度～平成32年度)に基づき、「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」を基本理念に、3つの基本目標である、①「『強靱』な水道の構築」、②「『安全』な水の供給」、③「お客様からの『信頼』の確保」に、計画的に取り組んでいます。

平成31年度当初予算においても、中期経営計画の着実な実施のために必要となる予算について計上します。

### [収益的収支]

- 給水収益は、直近の収入状況や消費税率引き上げの影響により、**8億円増の655億円**を見込んでいます。
- 委託料は、平成33年1月からの**第二期上下水道料金徴収一元化に向けた水道料金システムの改修**のほか、労務単価の上昇などにより、**16億円増**となります。
- この結果、収益的収支の**純利益**は、前年度に比べて**32億円減の29億円**となります。

### [資本的収支]

- 建設事業費は、前年度に比べて**26億円増の501億円**を計上します。
  - ・**铸铁管更新工事**は、中期経営計画に掲げた**耐震化率の目標達成**に向け、前年度に比べて**13億円増の205億円**を計上します。
  - ・**ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業**は、平成35年度の稼働に向けて**薬品沈でん池築造工事**など**68億円**、**浄水場施設の覆蓋化**は**34億円**を計上します。
  - ・災害等による停電時に浄水処理や送配水が継続できるよう**非常用自家発電設備の増強**を図るため、**1億円**を計上し、**実施設計**に着手します。

## ●当初予算（案）の規模等

### 1 予算規模

(税込み・単位:百万円)

区分	31年度 当初予算案 ①	30年度 当初予算額 ②	対前年度比較		備考	
			増減額 (①-②)③	比率 ③/②		
収益的 収支	収益的収入	81,298	81,283	15	0.0%	給水収益 65,500 給水申込納付金 3,827 長期前受金戻入 7,362
	収益的支出	75,894	72,198	3,696	5.1%	人件費 5,702 減価償却費等 30,196 委託料 10,157
	収支差	5,404	9,085	△ 3,681	△ 40.5%	
	消費税資本的 収支調整額等	△ 2,472	△ 2,932	460	△ 15.6%	
	純利益	2,932	6,153	△ 3,221	△ 52.4%	
資本的 収支	資本的収入	23,730	23,953	△ 223	△ 0.9%	企業債 19,000 国庫補助金 209
	資本的支出	61,551	60,235	1,316	2.2%	建設事業費 50,144 企業債償還金 11,072
	収支差	△ 37,821	△ 36,282	△ 1,539	4.2%	
支出予算総額		137,445	132,433	5,012	3.8%	

※資本的収支における37,821百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金(減価償却費など)で補填します。

### 2 企業債残高の状況

平成31年度末の企業債残高は、前年度に比べ79億28百万円増加し、1,455億36百万円となる見込み。

(単位:百万円)

30年度末残高見込 A	31年度当初予算案			31年度末残高見込 A+D
	借入額 B	償還額 C	差引 D=B-C	
137,608	19,000	11,072	7,928	145,536

## ●重点事業

### 基本目標 1 「強靱」な水道の構築

- 铸铁管更新工事（小中口径管）** 205億円（H30 191億79百万円）  
[債務負担行為 82億円（H30 54億円）]

東日本大震災による管路破損等の教訓を踏まえ、湾岸埋立地域の管路の更新を優先的に進めていきます。また、工事発注量の平準化を図るため、債務負担行為を増額します。

布設延長 77.1km（H30 75.5km）  
[うち湾岸埋立地域 26.2km（H30 25.9km）]

- 第二木下～柏井導水管整備事業** 3億36百万円（H30 1億20百万円）  
[債務負担行為 1億33百万円（皆増）]

木下～柏井導水管（昭和46年度布設）が更新時期を迎える前に、新たな導水管を整備して安定給水を確保するため、平成31年度は、実施設計等に着手します。

- ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業** 68億30百万円（H30 93億68百万円）  
[債務負担行為 209億9百万円（H30 34億77百万円）]

老朽化した栗山浄水場の機能を、近接するちば野菊の里浄水場に移転し、併せて高度浄水処理機能を導入するため、平成31年度は、薬品沈でん池築造工事や急速ろ過池機械設備工事などを実施します。

総事業費 約446億円（事業期間：平成24年度～34年度）  
稼働予定 平成35年度

- 浄水施設の覆蓋化** 34億円（H30 11億10百万円）

テロ等違法行為による異物混入などのリスクに備えるため、平成31年度は、柏井浄水場・北総浄水場の沈でん池などで覆蓋の設置工事を実施します。

総事業費 56億62百万円（事業期間：平成28年度～34年度）

## ○非常用自家発電設備の増強 1億27百万円

災害等による停電時に、浄水処理や送配水が継続できるよう、非常用自家発電設備の増強を図るため、ちば野菊の里浄水場（第2期）や柏井浄水場など5つの浄給水場で、実施設計に着手します。

## ○水源の安定化 13億63百万円（H30 20億6百万円）

国から暫定的に割り当てられている水源への依存を解消し、安定した自己水源を確保するため、八ッ場ダム建設事業に引き続き参画していきます。

### 基本目標2 「安全」な水の供給

#### ○高度浄水処理の拡充（再掲） 6億64百万円（H30 26億45百万円）

【債務負担行為 11億円（H30 3億43百万円）】

水質が良好とはいえない原水に対応するため、高度浄水処理システムの導入を推進し、より安全でおいしい水道水を供給していきます。

#### ○おいしい水づくりの推進 2億7百万円（H30 5億28百万円）

お客様に安全でおいしい水をお届けするため、塩素濃度低減に向けた管路末端での残留塩素濃度の測定や、赤濁水等の発生防止を目的とした計画的な管内洗浄等を実施します。

### 基本目標3 お客様からの「信頼」の確保

#### ○第二期上下水道料金徴収一元化に伴う水道料金システムの改修 5億57百万円（皆増）

【債務負担行為 4億2百万円（皆増）】

6市との間で、平成33年1月から第二期上下水道料金徴収一元化を実施することで合意したため、水道料金システムを改修します。

総事業費 約10億円（事業期間 平成31年度～32年度）

#### ○「お客様の声」を生かした事業運営 61百万円（H30 62百万円）

水道水への信頼と安心、事業への御理解・御協力をいただけるよう、「県水だより」の発行などを通じた広報活動と、インターネットモニターによりお客様の声を伺う広聴活動を実施します。

## II 工業用水道事業会計

### ●予算編成の考え方

創設から半世紀が経過した、本県の工業用水道事業は、施設の老朽化対策や大地震の発生に備えた耐震対策が急務となっていたため、引き続き工業用水を安定的に供給していくことを目的として、平成28年3月に「千葉県工業用水道事業施設更新・耐震化長期計画」（平成30年度～69年度）を策定しました。

平成31年度当初予算は、本計画の着実な実施に向け必要な予算を計上します。

#### [収益的収支]

○給水収益等は、新規契約6, 160m<sup>3</sup>/日等により、前年度に比べ1億88百万円増の119億84百万円を見込んでいます。

○この結果、純利益は、前年度に比べ1億29百万円増の4億38百万円となります。

#### [資本的収支]

○「施設更新・耐震化長期計画」で予定している事業の具体化を図る「中期経営計画」（平成30年度～34年度）に基づき、施設の老朽化対策及び耐震対策経費について、23億90百万円【債務負担 34億86百万円】を計上します。

### ●当初予算(案)の規模等

#### 1 予算の規模

(税込み・単位:百万円)

区 分	31年度 当初予算案 ①	30年度 当初予算額 ②	対前年度比較		備考	
			増減額 (①-②)③	比率 ③/②		
収益的 収支	収益的収入	13,727	13,585	142	1.0%	給水収益等 11,984
	収益的支出	13,081	13,112	△ 31	△ 0.2%	長期前受金戻入 1,545 人件費 1,006 委託料 2,012 減価償却費 5,960
	収 支 差	646	473	173	36.8%	
	消費税資本的 収支調整額等	△ 208	△ 164	△ 44	△ 27.2%	
	純 利 益	438	309	129	41.9%	
資本的 収支	資本的収入	3,695	4,175	△ 480	△ 11.5%	企業債 389 国庫補助金 218 出資金 3,000
	資本的支出	7,092	7,501	△ 409	△ 5.4%	建設改良費 2,390 貯水施設費 1,103 企業債償還金 2,380
	収 支 差	△ 3,397	△ 3,326	△ 71	2.2%	
	支出予算総額	20,173	20,613	△ 440	△ 2.1%	

※資本的収支における3,397百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金(減価償却費など)で補填します。

#### 2 企業債残高の状況

平成31年度末の企業債残高は、前年度に比べ19億91百万円減少し、213億70百万円となる見込み。

30年度末残高見込 A	31年度当初予算案			31年度末残高見込 A+D
	借入額 B	償還額 C	差引 D=B-C	
23,361	389	2,380	△1,991	21,370

## ●重点事業

### ○給水料金収入等の確保 119億84百万円 (H30 117億96百万円)

7地区で延べ284社に対し工業用水を供給します。

### ○造成土地管理事業会計からの出資金の受け入れ 30億円 (H30 30億円)

「施設更新・耐震化長期計画」の着実な実施に向け、財務基盤の強化のため造成土地管理事業会計から30億円の出資を受け入れます。

- ・受入総額 300億円
- ・受入年額 平成27年度～平成36年度まで毎年30億円

### ○安定的な水源の確保 6億26百万円 (H30 8億90百万円)

国から暫定的に割り当てられている水源への依存を解消し、安定した自己水源を確保するため、ハッ場ダム建設事業に引き続き参画していきます。

### ○施設更新・耐震化事業 23億90百万円 (H30 14億91百万円)

#### 【債務負担行為34億86百万円 (H30 2億90百万円)】

持続可能な工業用水道事業の構築と安定的な工業用水の供給を目指して策定した「施設更新・耐震化長期計画」に基づき計画的に事業を実施します。

#### (1) 浄水場等施設更新事業 13億62百万円 (H30 8億52百万円)

##### 【債務負担 21億44百万円】

人見浄水場、袖ヶ浦浄水場等に係る設備の更新を実施します。

#### (2) 管路・水管橋更新事業 10億28百万円 (H30 6億39百万円)

##### 【債務負担 13億42百万円 (H30 2億90百万円)】

老朽化したコンクリート管等の管路及び水管橋の更新を実施します。